

第5次狭山市生涯学習基本計画（素案）に係る意見等（パブリックコメント）に対する回答

■意見等の募集結果

(1) 意見の募集期間 平成28年6月10日（金）から平成28年6月20日（月）

(2) 提出者数 1名

(3) 提出件数 13件

(4) 提出方法の内訳

項目	持参	郵送	ファックス	電子メール
件数	0	1	0	0

(5) 意見の内容

- ・生涯学習を取り巻く社会の動向について 1件
- ・図書館について 1件
- ・アンケート調査結果について 2件
- ・市の生涯学習をめぐる課題について 1件
- ・施策について 8件

■ 生涯学習を取り巻く社会の動向について

No.	寄せられたご意見	市の考え方
1	社会の動向に対応しているとは思えない。	本計画の策定にあたり実施しました「狭山市生涯学習基本計画策定のためのアンケート調査」の結果や第4次狭山市生涯学習基本計画を踏まえて、社会の動向を考慮して策定しております。

■ 図書館について

No.	寄せられたご意見	市の考え方
1	子供用の本が探しにくい。	ご意見として承ります。

■ アンケートについて

No.	寄せられたご意見	市の考え方
1	口コミをもう少し活かすべき。	ご意見として承ります。
2	経験を生かしたいと思う若者は何ができるのか。	若い世代に対する生涯学習の機会や場の充実を図っていくなかで、地域やまちづくりへの参画の機会づくりを進めてまいります。

■ 市の生涯学習をめぐる課題について

No.	寄せられたご意見	市の考え方
1	市民の関心が高い講座とは。市民の関心が何にあるか、アンケートなどをとっているか。	本計画の策定にあたり実施しました「狭山市生涯学習基本計画策定のためのアンケート調査」の結果で、「この1年でどのような内容の学習をしましたか」との質問に対する回答では、「健康・スポーツ」、「趣味的なもの」、「教養的なもの」の順となっています。

■ 施策について

No.	寄せられたご意見	市の考え方
1	情報の提供は市民からのアクセスを待つのではなく、年代、家庭状況にあわせて宣伝などを入れてみてはどうか。	公式ホームページや、さやマルシェ等のインターネットによる情報提供の他に、紙媒体による情報提供として、広報さやま、公民館だより等を配布・回覧するなどしており、今後も年代や家庭状況にとらわれずに広く周知を行ってまいります。
2	新しくできたサークルや、学習場所等をわかりやすく伝えてはどうか。	さやまナビネット、さやま学びの仲間たちへサークル情報を掲載する他に、生涯学習情報コーナーで案内など、さらに情報提供・相談体制を充実してまいります。
3	さやマルシェの存在をもっと広げる工夫は。	これまで実施してきた「さやマルシェ操作講習会」について、より多くの参加が得られるなどの効果的な方法を研究してまいります。
4	参加者の交通機関が問題だとすれば、それを解決する。	ご意見として承ります。
5	どのようにしたら若者への関心が高まるか。	新たに若者向けにアンケート調査を実施するなど、若者のニーズを把握し、そのニーズに即した講座等の事業の実施に取り組んでまいります。
6	教育力って何？学校の勉強？生活力？心の教育？いじめ対策は？	教育力とは人の心身両面における成長や発達に及ぼされる教育的影響力、すなわち教育に必要な知識や経験、技能のことであると考えています。ご意見のような学校の勉強・生活力・心の教育、いじめ対策などは、学校だけで全ての教育がまかなわれるものではなく、家庭における教育も重要であり、これを地域が支えていく社会づくりを目指して教育力の向上を図ろうとするものです。
7	学校で教えてくれない社会の仕組み、社会講座はどうか。自立した時に困らないように。	市内大学と連携して「子ども大学さやま・いるま」及び「子ども大学さやま」を開校しておりますが、今後も学校だけでは学べないことを学ぶ機会を充実してまいります。
8	市民活動と生涯学習の違いは？連携の意味がわからない。	家庭や地域で学ぶ一人ひとりの多様な生涯学習により得られた知識や経験などの成果を市民が持ち寄って、市民活動や地域活動へと連携して活かしていただきたいと考えております。